

技術特許を押さえた製品開発とビジネスモデルを具体化する販路開拓支援

事業者	支援・協力機関		
株式会社 サーフ・エンジニアリング	かながわ信用金庫	神奈川県知財総合支援窓口 (神奈川県発明協会)	神奈川県よろず支援拠点 (神奈川県産業振興センター)

企業の概要

平成16年創業。神奈川県綾瀬市に本社工場を置き、ガスインフラ工事向けの機械・治具の製作や大型長尺旋盤加工を得意とするエンジニアリング会社。自走式のインフラ点検ロボットを開発し、ガス本管、橋脚などを対象とした省力・短工期の外面検査業務の事業化を目指している。従業員6名

支援の概要

◆ 支援の経緯

ガス本管用外面点検ロボットを開発し、事業化への取組みを模索していた同社に対して、かながわ信金経営サポート部の小池氏がコーディネーター役を担い、多くの支援機関の協力を得て事業化の可能性検証と販路開拓のための取組みを連続的に支援した。

◆ 経営課題へのアプローチ

- ① 経営者の想いを丁寧に吸い上げ、事業の目利きと支援提案を実施（信用金庫）
経営者の話を傾聴し、事業性の評価と具現化するプロセスを熟考し事業構想を議論。信用金庫の本部と支店が連携しながらアイデアを提示し、支援制度等を提案した。
- ② 初期段階の技術評価と知財保護への取組み（知財総合支援窓口）
屈曲した配管にも対応できるなどの独自の技術であることを指摘し、かん口令を指示すると共に、開発技術の独占保持のための特許出願や販路開拓のための商標登録などの手続きを支援。元請企業等との権利調整や拒絶理由応答書への対応にもアドバイス。
- ③ ビジネスプランの作成支援とビジネスオーディションへの応募（信用金庫、よろず支援拠点）
ビジネスプランを作成し、ものづくり補助金の取得で試作機を製作。更に、かながわビジネスオーディションへの応募を提案し、資料作成や発表準備を支援し県知事賞を受賞。当該製品の認知が一気に拡大し、事業化への道筋が確立した。

◆ 支援成果

- ① 補助金等の活用により試作機を開発し、配管実証試験で製品性を確認。用途拡大を目指した橋脚点検用ロボットも実証実験を実施
- ② 技術特許の取得及び商標登録「のぼるくん」の完了

注目ポイント

◆ 支援機関の得意分野を活かし、中小企業支援策をフル活用

支援機関がそれぞれの得意分野を活かした支援形態を取り、支援情報や人脈を基に、国・神奈川県の支援施策をフルに活用した。前述以外でも、同県産業振興センターの販路開拓ナビゲート事業によりマッチングを実施し、同県産業技術センターのデザイン相談室のアドバイスで統一ブランドイメージを確立する。橋脚点検の実証実験は綾瀬市の協力で実施し、同県公募型「ロボット実証実験支援事業」にも採択される。